


環境教育講座

整理番号:20251220

イベント名	循環型社会の実現に向けた環境行動
-------	------------------

実施内容	
活動日時	2025年12月20日(土)9:30～11:30
活動場所	浜松市西部清掃工場 啓発施設「えこはま」
活動者名	高根美保
詳細	①ごみってなに？ 廃棄物処理法について ②浜松市の家庭ごみ減量について ③浜松市西部清掃工場見学案内 ④3R行動の実践例紹介(生ごみ、雑がみ、紙パック) ⑤「えこはま」実践リサイクル事業紹介(紙容器、ハブラシ、ペン、inゼリー)

事業の様子と成果	<p>参加者:浜松市中央区有玉北町 新村自治会 4名 配布物:紙容器リサイクル事業(チラシ・紙袋・メモ帳)、ごみ減量冊子、雑がみPP 依頼内容:自治会の環境維持活動の一環として、ごみの出し方を出前講座で勉強しました。更に詳しく自分たちが出来る環境行動を学びたい。</p> <p><参加者の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ・”ごみ”の言葉が持つ意味が分かった。 ・全てのものには「ごみになる時間」があるという考え方が分かった。 ・浜松市が目指す「404」運動の意味が分かった。 ・自治会として取り組める家庭ごみ減量行動が分かった。 ・生ごみ減量「LFCコンポスト」。実際に見て嫌なニオイや虫が発生していないこと、中身が温かいことが体験できて良かった。自治会として挑戦したいので浜松市にLFCコンポストの購入について相談してみます。 ・自治会として各家庭に「紙容器」や「ハブラシ」「プラスチックペン」「inゼリー」のリサイクルを紹介して回収に取り組んでみたい。 ・リサイクルには、ルールがあり守ることが重要だということが分かった。 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ減量行動として「LFCコンポスト」への挑戦や雑がみの行動として自治会印刷物の一部に「雑がみ啓発文」の導入を行うことになった。 ・4つのリサイクル事業(紙容器、ハブラシ、プラスチックペン、inゼリー)を実践したいとのことであった。
	

記録添付

